

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 シェイクアウト訓練事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111 (内 2746)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 186 千円 (前年度予算額：186 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	186	0	0	0	0	0	0	0	186
要求額	186	0	0	0	0	0	0	0	186
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近い将来、南海トラフ地震の発生が懸念されており、また、岐阜県には多くの活断層があるため、大地震はいつどこで発生してもおかしくない状況にあると言われている。このような中、地震による被害を軽減し、県民の安全を守るためには、発災時に自助の行動を促す効果的な防災訓練の実施が求められるところ。

シェイクアウトはあらかじめ訓練日時を指定し一斉に身を守る安全行動を身につけるのに有効な訓練であるため、県は同訓練を平成25年度から実施しており、今年度は9月5日(日)の午前10時を基準日時とし、シェイクアウト訓練を呼び掛けたところ、概ね例年と同水準である37万人の人々の参加登録を得た。本訓練は繰り返し実施することでより大きな効果が期待される上、感染を気にすることなく誰でもどこでも手軽に実施できるため、令和4年度も継続して実施する。

(2) 事業内容

<令和4年度ぎふシェイクアウト実施要領(案)>

日時 令和4年9月3日(日) 10:00(基準)

主催 岐阜県

協力 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議事務局(※)
※各自治体等のシェイクアウト訓練を支援する団体。

想定 基準日時に、岐阜県内で大地震が発生。

内容 地震発生の場合とともに、約1分間次のように行動:

①Drop (姿勢を低くする)

②Cover (頭や体を守る)

③Hold on (揺れが収まるまで待つ)

(3) 県負担・補助率の考え方

県主催事業のため、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	65	印刷製本費
委託費	80	訓練参加協力依頼
役務費	41	リーフレット郵送
合計	186	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 防災リテラシーを維持・向上するため、引き続き岐阜県内の個人、団体にシェイクアウトの参加登録を促し、参加登録数 40 万人を達成・維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
ぎふシェイクアウト 参加者数	未開催	38.8 万人	39 万人	39 万人		99.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 7月1日より参加者の募集を開始し、学校や企業、社会福祉施設などに参加啓発を行った結果、920組、387,906人の参加者登録があり、地震発生時の安全行動を身につけることができた。</p>
令和 3 年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>シェイクアウト訓練は、多くの県民が同時刻に一斉に身を守る行動をとることにより、「命を守る」ことの意識づけや、命を守る行動を身に着けることができる有効な訓練として、必要性が高い。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>38万人を超える県民が主体的に訓練を実施し、防災意識高揚に寄与した。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>本訓練は、参加者が無料で参加でき、場所も選ばず、コロナ禍でも実施可能な訓練であり、効率的に大きな効果を得られる。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 個人や地域の自主防災組織、一般企業の参加者数が他の属性に比較してやや少ない傾向にあるため、訓練の周知啓発をより充実させる必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コロナ禍においても、地震は発生することから、災害時における瞬時の行動パターンを身につけるこうした災害対応型防災訓練の重要性は不変。本訓練は、参加者が手軽に、無料で参加でき、場所も選ばず、コロナ禍でも実施可能な訓練であるため、「災害から命を守る岐阜県民運動」の一環として引き続き実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	